

# 神戸女学院大学

## 人間科学部 心理・行動科学科

### 精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第3号

大阪府 吹田市にある榎坂病院とオンライン見学実習をさせていただきました。



3回生の授業(精神保健福祉援助実習Ⅰ)において、今年度もオンライン(Zoom)より見学実習をさせていただきました。

吹田市の精神科単科病院は榎坂病院のみであることから、行政機関や地域事業所等との連携に力を入れていることを学びました。そして長期入院に関心のある学生が複数いたため、服部先生が携わられた退院支援のお話をお聴きすることもできました。外来・病棟・デイケアの業務のみならず、服部先生が精神保健福祉士として大切にされている価値観等非常に多くの質問を細やかにお答えいただき、全員で熱量を実感できた時間でした。



#### 学生からケースワーカー服部先生へ 質疑応答(一部ご紹介)

Q1: 榎坂病院ならではの取り組みはありますか？

A1: コロナ流行前は院内茶話会として、地域生活に目を向けてほしい患者様に参加していただいた。実際に退院に結び付いたケースもある。

Q2: 精神科病院で働く精神保健福祉士に向いている人はどのような人だと思われませんか？

A2: 偏見を持っていたとしてもそのことに気づいている人。また、患者様の視点に立てる人。

Q2: 患者様とうまくコミュニケーションが取れない場合はどのようにして関係性を築きますか？

A2: 空間を共有することから始める。コミュニケーションそのものに苦手意識を持っている方もいるため、何となく相談しやすい空気を受け取ってもらう。

Q3: 長期入院患者様の退院支援に関して、どのようなことに難しさや壁を感じますか？

A3: 病棟で困っていることはなく、(時間に決まりはあるが)外出も可能な患者様にとって辛い環境から地域生活(=退院)へ意識が変わるまでに時間を要する点。

#### 実習後、参加した3回生の感想



★精神保健福祉士の業務内容について、具体的な1日の流れやスケジュールを知ることが出来て良かった。

★患者様個々人を見るだけでなく、多職種を巻き込む力が精神保健福祉士に必要だと思った。

★病名が同じでも個々人で見るといってお話が印象的であった。診断名=〇〇と判断してしまいそうなので、気をつけたい。

★コロナが流行する前に出来ていたプログラムが、現在は出来ていないことを知った。情勢に応じて新しいことを考える必要性を感じた。

★働く上で公平性を意識しているお話が印象的であった。どのような人であっても無意識に好き嫌いを考えずに関わられるようになりたい。

★患者様と早く打ち解けたい・関係を築きたいと思っていたが、1から作り上げることの大切さを学んだ。

★格好良い精神保健福祉士だと思った。言語化する力に感心した。

大変お忙しい中、ご対応いただきましたケースワーカーの服部先生に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

